

各位

会社名 株式会社ダイセル
 代表者名 代表取締役社長 小川 義美
 (コード番号 4202 東証 市場第一部)
 問合せ先 事業支援本部IR広報グループ
 リーダー 廣川 正彦
 (TEL 03-6711-8121)

中期戦略 Accelerate 2025- II 策定に関するお知らせ

2020年6月5日に発表した中期戦略 Accelerate 2025 では、その策定時点で新型コロナウイルスの感染拡大の渦中にあったことから、その対応を優先することとし、具体的な経営目標については、状況の推移を見極めながら、改めて策定することとしておりました。

その間、コロナ禍への対応とともに、Accelerate 2025 に掲げた施策にも着実に取り組みながら、さらに議論を深め、Accelerate 2025- II として具体的な経営目標を取りまとめました。

以下に、その概要をお知らせいたします。

記

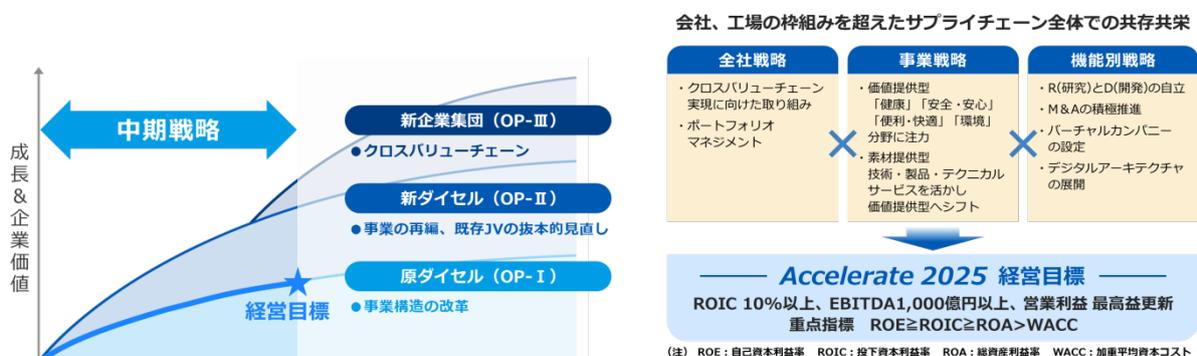
1. Accelerate 2025- II でお伝えすること

2020年6月に発表した Accelerate 2025 では、以下の図で当社グループの成長とサステナブル社会構築への貢献を目指すことをお伝えしました。

このうちのいくつかの施策は、セイフティ SBU の構造改革やポリプラスチックスの完全子会社化など、2020年度に一定の前進・成果を上げており、これらを弾みに、今後さらに諸施策を加速していきます。

今回策定した Accelerate 2025- II では、当社グループの考えるサステナブル社会(循環型社会)構築への道筋をお示しするとともに、それにつながる具体的な経営施策と、その遂行によって達成を図る当面の業績目標をお伝えいたします。

中期戦略期間の前半は、減価償却費などで一時的に営業利益が低下しますが、全社的なコストダウンの徹底とともに、成長牽引事業であるセイフティ SBU の効率化やポリプラスチックスの生産能力増強を進め、非事業用資産の売却など財務体質の強化にも取り組むことで、業績回復と資本効率の向上を図ります。そして、期間後半には、成長牽引、育成事業などに経営資源を重点配分しながら、クロスバリューチェーン構築に向けた施策を加速してまいります。



* 2020年6月に発表した中期戦略 Accelerate 2025 の「成長と加速曲線における位置づけ」と「中期戦略の全体像」

中期戦略 Accelerate 2025- II の詳細は、別添資料をご参照ください

2. 業績・経営指標ターゲット

単位: 億円

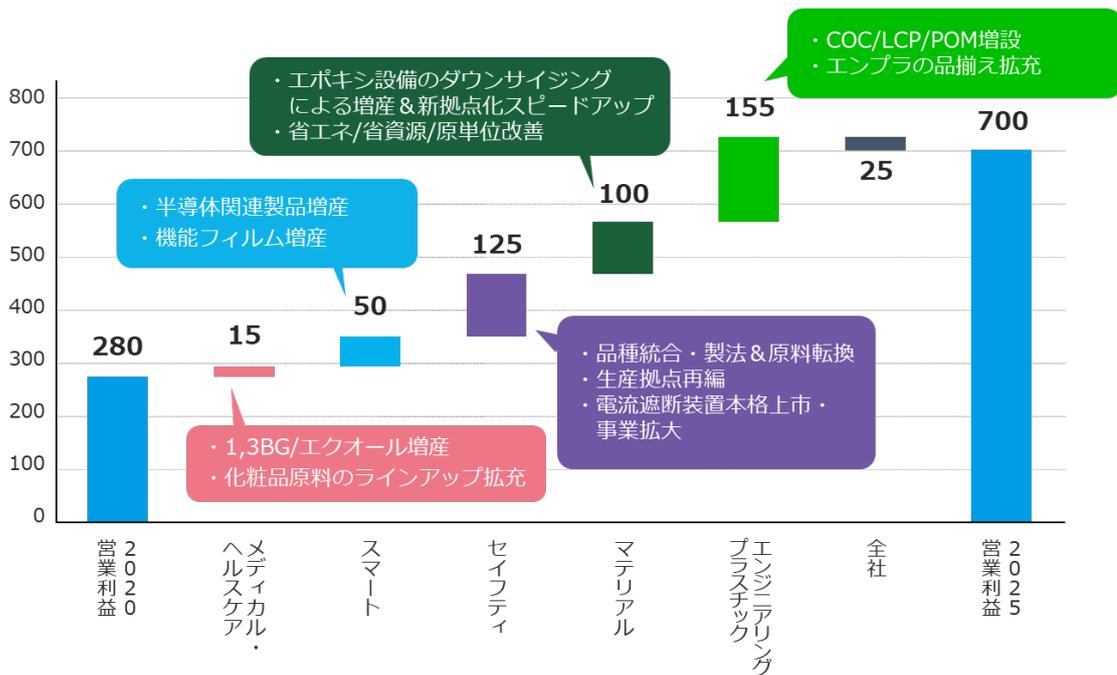
	2020*1	2021*2	2022	2023	2024	2025
売上高	3,880	3,950	4,080	4,360	4,650	5,000
営業利益	280	130	210	330	530	700
営業利益率	7.2%	3.3%	5.1%	7.6%	11.4%	14.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	180	150	180	240	360	480
EBITDA	580	600	680	820	1,000	1,160
ROE	6.2%	7.0%	8.5%	11.0%	15.0%	18.0%
ROIC	3.8%	1.5%	2.5%	4.5%	7.0%	10.0%
ROA	3.0%	2.5%	3.0%	4.0%	6.0%	8.0%
総還元性向	現行一株当たり配当金額を下限/総還元性向 40%以上					
主な計画	2021: CO(酢酸原料) プラント稼働 1,3BG(化粧品原料) プラント稼働		2022: セイフティ SBU 生産地集約完了 半導体関連製品増産		2023: COC 増設プラント稼働 インフレータ インド生産拠点稼働 2024: エポキシ(過酢酸誘導体)増産 LCP 増設プラント稼働 2025: POM 増設プラント稼働	

最終年度の WACC は 6%前後と想定しています

*1: 2020 年度(21 年 3 月期)は、21 年 2 月 3 日に発表した見通しをベースとしています

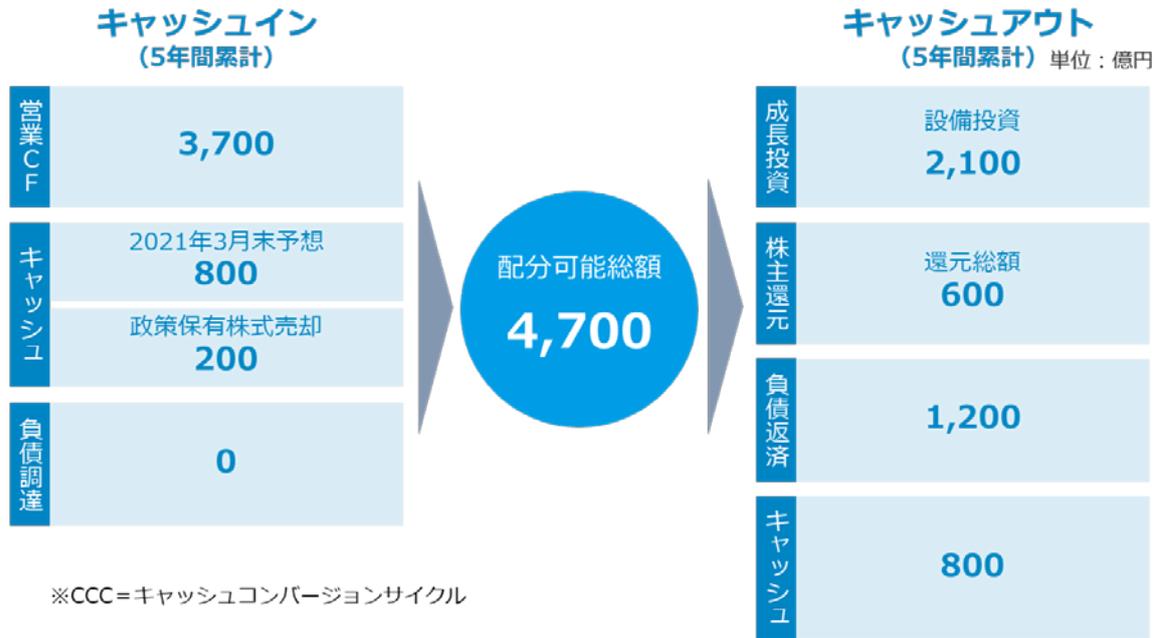
*2: 2021 年度(22 年 3 月期)は、年度計画策定後、改めて発表いたします

3. 営業利益増加のセグメント内訳



4. 資金創出力

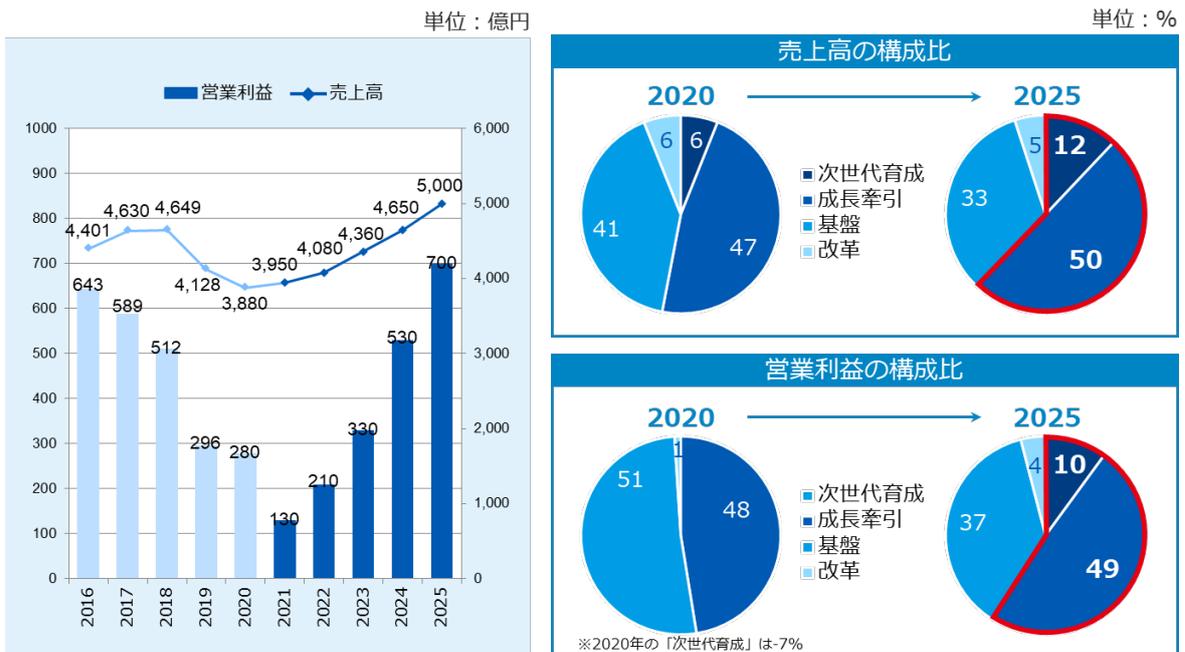
収益力強化に加え適正在庫化など CCC(※)削減効果で資金創出力向上
 非事業用資産売却により資金創出力をさらに高め、余裕資金を成長投資や株主還元を活用
 株主還元は総還元性向 40%以上とし、自己株式取得も視野に柔軟に対応



5. ポートフォリオの変化

売上：2020年度を底に次世代育成/成長牽引を伸ばし成長

営業利益：2021年度は大型投資償却の影響で低下するが、原価改善と次世代育成/成長牽引で成長



6. ポリプラスチックス完全子会社化のシナジー効果

2025年度までに200億円を織り込み

グローバル展開の加速

効果:130億円

- ・ 将来需要取り込みのための増産投資
- ・ 欧米市場への拡販

コストダウンシナジーの実現

効果:60億円

- ・ ダイセル式生産革新の展開加速
- ・ 間接部門の効率的運営（人財ローテーション／調達・エンジニア・人事一元化）

グループシナジーの最大化

効果:10億円

- ・ ポリプラスチックスのマーケティング力の活用
- ・ R&Dリソースの相互活用を実施（例：計算科学/測定機器 等）
- ・ 触媒効率改善など既存事業の改善および改良

【投資計画】

投資	運転開始 (年度)	増産能力 (MT/年)
COC デボトルネック	2021	4,400
COC増設	2023	20,000
LCP増設	2024	5,400
POM増設	2025	90,000

注) シナジー金額：EBITDAを用いて算出

7. 中期戦略 Accelerate 2025- II の前提条件

中期戦略(2021~2025)		
	為替レート(USD/JPY)	100
原料	メタノール アジアスポット価格 (USD/MT)	280
	ドバイ原油 (USD/bbl)	60
	国産ナフサ (JPY/KL)	40,000

8. その他

各 SBU(事業部門) や機能別戦略の詳細は、別添の「Accelerate 2025- II 中期戦略」の説明資料をご参照ください

※上記業績予想数値は、現時点で入手された情報に基づき判断したものであり、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありうることをご承知おきください。

以上